

製品名: nNOS (神経細胞) (9C9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14769**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:200-1:500, IP 1:100-1:200
分子量	161kDa

抗原情報

遺伝子名	NOS1
別名	bNOS; Constitutive NOS; IHPS1; N-NOS; NC-NOS; Neuronal NOS; nitric oxide synthase 1 (neuronal); Nitric oxide synthase, brain; nNOS; NOS; NOS type I; NOS1;
遺伝子 ID	4842.0
SwissProt ID	P29475
免疫原	ヒト nNOS (神経細胞) の合成ペプチド

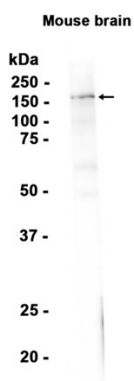
背景

nNOS 一酸化窒素合成酵素 1、神経型。多様な機能を持つメッセンジャー分子である一酸化窒素を産生し、脳および末梢神経系において神経伝達物質としての多くの特性を示す。ジストロフィン複合体のエフェクター酵素である可能性がある。体全体で多様な機能を持つメッセンジャー分子である一酸化窒素 (NO) を産生する。脳および末梢神経系において、NO は神経伝達物質としての多くの特性を示す。ニトロシラーゼ活性を有し、SRR などの細胞質標的タンパク質のシステイン S-ニトロシル化を媒介すると考えられる。

研究分野

アルギニンおよびプロリン代謝、カルシウム、長期うつ病、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 、

画像データ



nNOS (ニューロン) (9C9) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。